

## 女性消防分団との語ろう会（ご意見等）

テーマ：「女性消防分団活動で感じること・感じたこと」

### 女性消防分団の活動について

活動内容：平成21年度から活動している。当時は市内8地区から2名ずつの16名で発足した。現在、地区は関係なく20名で活動。火災の現場ではなく、保育所や幼稚園の夕涼み会で、消防職員が作る焼きそばの手伝い、花火の指導、紙芝居などソフト面の活動をしている。昨年度から20分程度の寸劇（園児を対象とした避難訓練や初期消火、命を守る行動など）を行っている。また、救命講習の要望があれば派遣され指導を行っている。

| 番号 | 意見                                                                    |
|----|-----------------------------------------------------------------------|
| 1  | 消防団全部の予算のため、視察研修などの予算が少ない。消防に対する全体予算の増額を要望。                           |
| 2  | 広報紙（市広報・議会広報）などで女性消防分団のPRをしてほしい。                                      |
| 3  | 救命講習の受講者が20名以上のとき、女性消防分団員が指導できる。少数の場合は指導の対象にならないため少人数でも指導できるようにしてほしい。 |
| 4  | 全国大会（操法大会）に出場を目指していくための予算がない。                                         |
| 5  | コロナにより活動が縮小されてしまった。寸劇の練習など自分も楽しみながら参加している。子育て世代の若いメンバーが参加しやすくなればいい。   |
| 6  | 救命講習を広めたい。（緊急時、対応できるように）                                              |
| 7  | どのような活動をしているか分からなかった。活動内容の周知が大切。理解してもらうことが大切。                         |
| 8  | 団の存在すら知らなかった。知ってもらえば素晴らしい活動ができると思う。                                   |
| 9  | 女性消防分団がもっと広がってほしい。                                                    |

|    |                                                                        |
|----|------------------------------------------------------------------------|
| 10 | AEDを5分以内に使うことが重要。設置箇所が増えれば良い。                                          |
| 11 | 講習の依頼が減ってきている。多くの方に救命を覚えてほしい。                                          |
| 12 | 独居老人宅に訪問活動をしたいが、自治会、民生委員の同行が必要など様々な制限があり断念した。コミュニケーションにもなるので活動が出来ると良い。 |
| 13 | 認知度をアップしてほしい。                                                          |
| 14 | AEDマップを作してほしい。公共施設は分かるが民間施設はどこにあるか分からない。                               |
| 15 | 子育て中でも活動できるということを広報などで周知してほしい。                                         |
| 16 | 火災時の防災無線は昼間だけではなく、昼夜問わず放送してほしい。メール連絡が遅い。                               |